

## 学生時代の夢

### “ものづくり”がしたい!

中学時代から将来は「ものづくり」をしたかった。それも機械、とくに自動車に関する仕事をしてみたいと思っていました。譲れなかったのは、1つのものをつくるのに、設計して、造って、試験して…その過程全部を自分でやりたいということ。それができる会社が私の地元にはなく、県外への1ターン就職で探すことにしました。

## 就職活動

### 求めていた会社に出会い、1社にしぼる

大学3年の夏ごろから企業研究を始めました。合同就職説明会にも参加しながら、自動車・建機・農業機械に業種をしぼって10数社にエントリー。受けたのはいまの会社1社だけです。ただ、内定が4月始めて、もしダメでも再スタートが可能な早めのスケジュールではありました。

たとえ大手の企業でも、開発部門にいながらセクションが細々と分かれるようでは嫌だった。その点、いまの会社は、説明会で先輩社員の方から「ひととおりできるよ」と聞いたことが決め手でした。もう一つ、趣味である「スキー」が盛んな長野県の企業であることも大きな要素でした。

## アドバイス

### 話を聞いて、どんな会社かをちゃんと知る

私が勤める会社は、中小規模の企業です。年収の多そうな、有名な大手企業を希望する人が多いけれど、いまあらためて思うのは、小さくてもすばらしい会社はいっぱいあるということ。だから、先輩社員の方からも話を聞いたりして、しっかり企業研究をすることをすすめたいです。



友人たちと山スキーに出かけることも

## オンタイム

### 造って、試して—製品開発が楽しくて仕方ない

開発部で主力製品のロータリー（耕運機）を担当しています。設計から組立て、改造、試験、市場調査まですべてやるので、デスクワークとそれ以外が半々くらいです。農家の方に畑を借りて試作機を試すとき、「良い機械だ。売り出したら買おうよ」と言われたり、試作機が思ったとおりに動いたときはうれしい限り。開発部内としては珍しく、直接お客さんの顔を見ることができるのもやりがいです。常に変化のある毎日で、楽しくて仕方ありません。

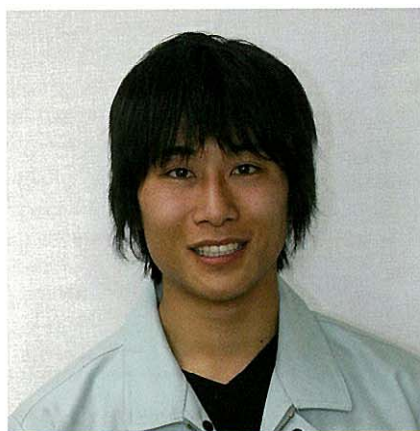
## オフタイム

### めざすは国体長野県代表! 競技スキー

オフはスポーツがメイン。とくに小さいころから続けているのが競技スキーで、アルペンの滑降から回転まで4種目全部やります。長野県は滑れる期間が長いので、昨季は60日ほど通いました。レベルの高い長野県の代表選手として国体出場するのが目標です。冬以外は、会社の部活動でテニスとフットサル、個人的にマウンテンバイクも楽しんでいます。



## 先輩の話が決め手に一求めていた “ものづくり”の会社で充実の日々



農業用作業機械メーカー  
江原 徹さん(えはら・とほる)

鳥取県米子市出身。芝浦工業大学工学部機械工学第二学科(当時)卒。2007年入社、3年目。上田市で農業機械を製造・販売する会社の開発部に所属し、ものづくりの第一線で働いている。



土を耕すところすべてがお客さんになる。「北海道から鹿児島まで、日本全国飛び回っています!」